

佐賀っ子学力向上プラン

- 学習状況調査の結果を踏まえて -

中学校社会科編



まえがき

子どもたちの学びの環境が大きく変化する現在，各学校では確かな学力の定着と，子どもたち一人一人の豊かな人間性をはぐくむ教育の充実が求められています。

そのような中，佐賀県教育委員会では，基礎学力の定着度や学習意欲等を把握し，指導方法の改善・充実を図るための有効な資料を得るため，平成16年度に小学校第6学年から中学校第3学年までの児童生徒を対象として，学習状況調査を行いました。

その調査結果から，小学校は全国の平均通過率とほぼ同程度，中学校は全国平均より高い傾向が見られました。また，前回（平成14年度）調査の同一問題における平均通過率と比較して，各教科とも同等もしくは5ポイント以上，上回るという結果でした。

しかしながら，小中学校ともに，自分の考えを書いたり，資料を読み取ったりする問題の通過率が低いという傾向が見られ，考える力や表現する力がやや不足しているなどの問題点も明らかになりました。変化の激しい今後の社会を生き抜いていくために必要な「自ら学び，自ら考える力」「問題解決能力」などの基礎となる「思考力・判断力」における課題が見えたとも言えます。

そこで，教育センターにおいても，これらの課題を解決し，本県児童生徒の基礎学力向上に資するために，「プロジェクト研究事業」の一つとして，「基礎学力の向上研究委員会」を立ち上げ，指導方法改善の研究に取り組んでまいりました。具体的には，小・中学校の国語科，社会科，算数・数学科，理科，英語科の学習状況調査結果を分析，考察し，課題の見られる内容領域に絞って，その具体的指導方法を探りました。委員として委嘱した小中学校の先生方と教育センター所員で研究委員会を組織し，理論と実践の両面から研究してきたことをまとめたものが，この「佐賀っ子学力向上プラン」です。

これらの研究の成果が，今後，各学校の授業実践の中で活用され，本県児童生徒の学力向上に役立てられることを願ってやみません。

最後になりましたが，本研究を進めるに当たって，多くの学校や関係機関に多大なご協力をいただきましたことに厚くお礼申し上げます。

平成18年3月

佐賀県教育センター所長 宮崎 正則

目 次

平成16年度学習状況調査の結果から	1
各分野における学習指導方法の改善プラン	2
地理的分野編	
1 地理的分野の基本構想	3
2 授業改善の工夫	3
3 授業の実際	4
4 評価問題作成の工夫と考察	8
5 地理的分野の授業改善のために	9
歴史的分野編	
1 歴史的分野の基本構想	11
2 授業改善の工夫	11
3 授業の実際	12
4 評価問題と解答例，分析	17
5 考察	18
公民的分野編	
1 公民的分野の基本構想	19
2 授業改善の工夫	20
3 授業の実際	20
4 評価問題と解答例，分析	24
5 考察	26
佐賀県中学生の学力向上のために(成果と課題)	27
おわりに	28

平成16年度学習状況調査の結果から

- 資料を基に思考力や判断力を高める作業的・体験的な学習を -

中学校社会では、2学年合わせた合計61問中42問で、県全体の通過率が全国通過率を上回りました。しかし、評価の観点の通過率を全国通過率、設定通過率と比較すると、第2学年の「社会的な思考・判断」の観点がやや低くなっています。第2学年の観点別通過率は、図1のようになっています。

考 察

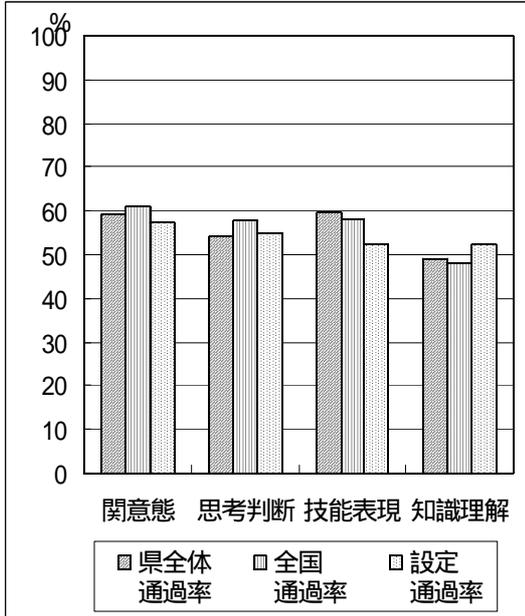


図1 第2学年評価の観点別の通過率

県全体の通過率が「関心・意欲・態度」で1.9ポイント、「思考・判断」では3.6ポイント全国通過率を下回っている。

「思考・判断」の設問の中では、資料を基に推察したことを短文で記述したり、学習課題を設定したりする問題で、特に通過率が低い。

「技能・表現」では県全体の通過率が全国通過率を1.3ポイント上回っているが、資料を見て興味をもったことや疑問に思ったことを学習課題として表現する問題では、通過率が10ポイント下回っている。

内容・領域別に見ると、地理的分野では「地域の規模に応じた調査」が、歴史的分野では「歴史の流れと地域の歴史」と「近現代の日本と世界」の県通過率が、全国通過率を下回っている。

社会科の改善の基本方針では、「内容の重点化」⁽¹⁾を図り、「網羅的で知識偏重の学習にならないようにするとともに、社会の変化に自ら対応する能力や態度を育成する観点」⁽²⁾から、「学び方や調べ方の学習、作業的、体験的な学習や問題解決的な学習」⁽³⁾などを一層重視することが示されました。このような学習を一層進めることが、図1と考察から見えてくる課題の解決につながることでしょう。しかし、調査や表現活動を取り入れた授業が普及していない現状があります。

資料を基に思考・判断し表現するタイプの問題を苦手とする生徒が多い

例えば、資料を基にして
 学習課題を設定する問題
 推察したことを記述する問題
 疑問に思ったことを表現する問題

作業的・体験的な学習は大切だが、授業で取り組むのは大変だと感じる教師が多い

その理由として、
 調査活動に時間がかかる
 適切な資料を集めることができない
 発表や討論の指導が難しい など

そこで

思考・判断の能力を高めるために、資料を活用して作業的・体験的な学習に取り組んだ実践事例を、地理・歴史・公民の各分野にわたって紹介します。

各分野における指導方法の改善プラン

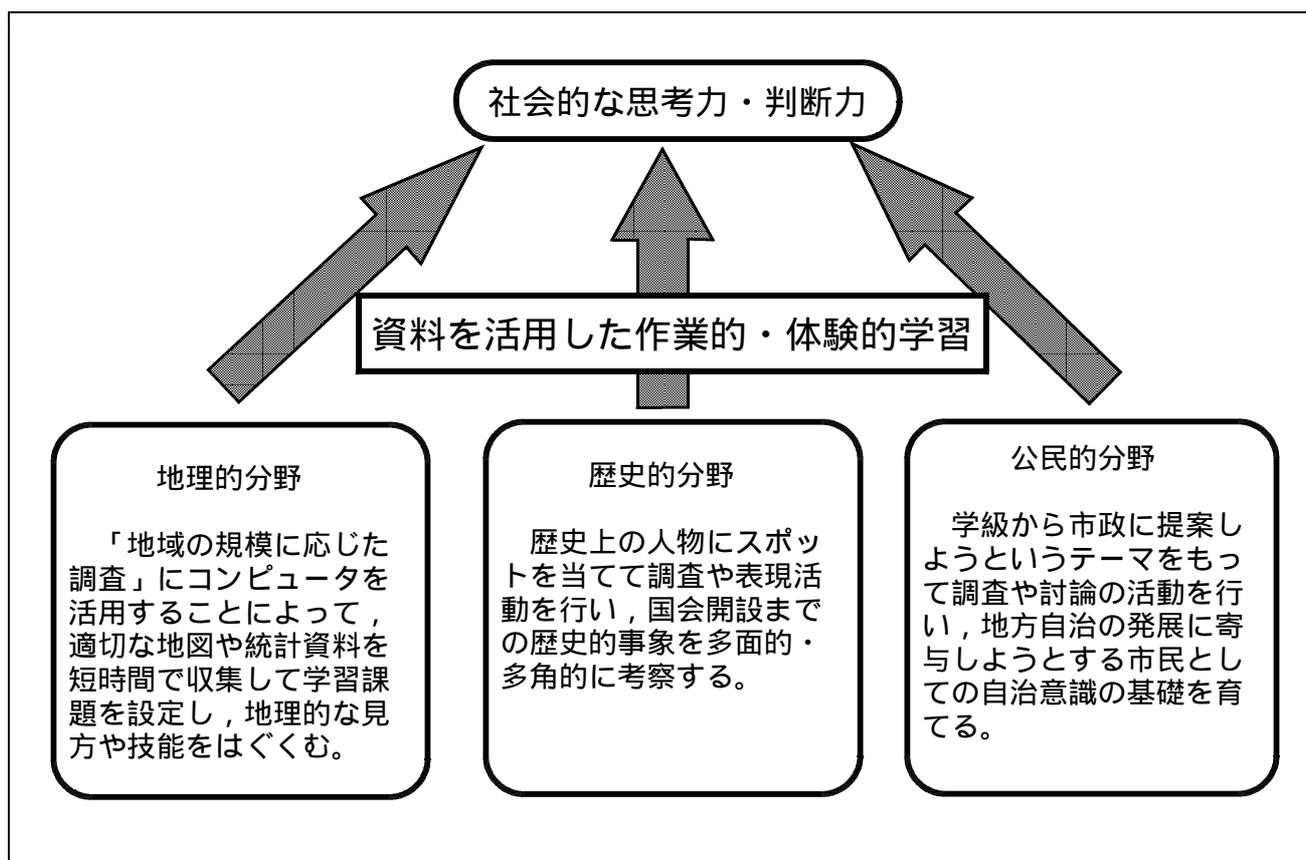


図2 地理・歴史・公民の各分野における改善プラン

《指導方法改善のポイント》

1 地理的分野〔身近な地域を調べよう〕

インターネットを活用することにより、調査活動時間の節減を図った学習効果の高い指導法を提案します。

新旧の地形図や航空写真を無料で入手して、自然地理の作業的・体験的学習をさせる。

公的機関や企業のHPから最新のデータを入手して、人文地理の作業的・体験的学習をさせる。

授業中には野外調査を行わなくても、学習課題の設定までは必ず行わせる。

2 歴史的分野〔明治維新と自由民権運動〕

小学校6年生社会科の学習との関連を図り、人物に焦点を当てて調査や表現活動を行います。歴史的分野において価値判断のある学習活動例を紹介します。

資料集や学校図書館の本に加え、インターネットも活用して資料収集の時間を短縮する。

似顔絵や吹き出しを使うなど、表現力を培う手立てを工夫する。

価値判断に向けて、根拠を挙げて発表や討論をさせる。

3 公民的分野〔多久市の住民として地方自治を考えよう〕

公民的資質の育成を図ることに直結する学習過程を紹介します。

直接経験や地域の利点を生かして資料を収集させる。

各グループのプランをプレゼンテーションさせ、表現の技能を高める。

学級全体での検討と個人での意思決定を体験させることによって、思考・判断力を高める。

《地理的分野編》

1 地理的分野の基本構想

表1から、地理的分野の県全体の通過率は、1・2年生ともに全国通過率を上回ることが分かります。しかし、1年生の「地域の規模に応じた調査」

の中の「地図の縮尺と活用法」についての設問の通過率は33.3%で、地理的分野の設問中最低でした。また、2年生の「地域の規模に応じた調査」では、全国通過率を3.4ポイント下回っており、5問中3問で通過率が35%を下回りました。両学年とも、通過率が低かった設問のほとんどが「社会的な思考・判断」と「資料活用の技能・表現」の観点に関するものでした。

以上のことから、地理的分野においては、「地域の規模に応じた調査」の中でも特に「社会的な思考・判断」の能力を高めることが重要であると言えます。

「地域の規模に応じた調査」で
地図と統計資料を効果的に活用し、「社会的な思考・判断」の能力を高める。

そのためには、「実際に地域的特色を追究する調査活動を通して、自らの力で地域的特色をとらえる調べ方、学び方を身に付けさせる」⁽⁴⁾ 学習活動を展開する必要があります。

ところが、佐賀県中社研のアンケート調査によると、「身近な地域」の授業でフィールドワークを実施しなかった学校数(図3のウ)は、実施した学校数(図3のア)の5倍になりました。「都道府県」と「世界の国々」の授業でも、教師が調査活動を回避する傾向があるようです。なぜでしょうか。

地理的分野の指導では、

時数の不足	調べ学習の際の資料の不足
最新の資料不足	身近な地域などの教材不足

などで一番苦労しているという教師の声がありました。教師が授業中の調査活動を敬遠する理由として、「授業時数に余裕がない」と感じ、「資料収集が大変だ」と思っていることが分かります。

そこで、地理的分野編では、「地域の規模に応じた調査」の最初の単元である「身近な地域の調査」において、効率的に資料を収集し効果的に活用した実践事例を紹介します。

2 授業改善の工夫

地理的分野で地域に関する情報を収集する場合、「地理的事象は位置や空間的な広がりの中で展開していることから、地図に表現できるかどうか地理情報を見分ける指標の一つになる」⁽⁵⁾ ので、調査対象地域の地図が必要になります。

ところが、生徒にとって身近な地域である校区やその周辺地域の地形図が、備品教材として学校にないことがあります。あったとしても、10年以上も前の地形図だとすれば、新旧の変化を比較する資

表1 平成16年度佐賀県学習状況調査における地理的分野の通過率

学年	内 容	県全体通過率		全国通過率	
		県全体	全国	県全体	全国
1年	世界と日本の地域構成	58.8	57.8	57.4	56.0
	地域の規模に応じた調査	56.8		54.7	
2年	地域の規模に応じた調査	40.5	55.7	43.9	54.5
	世界と比べて見た日本	65.9		61.2	

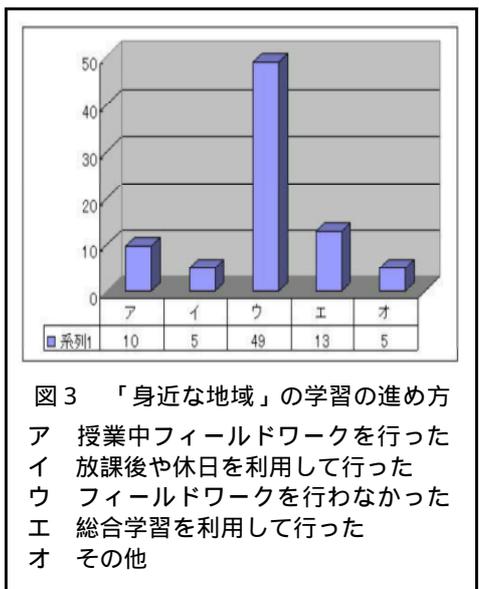


図3 「身近な地域」の学習の進め方
ア 授業中フィールドワークを行った
イ 放課後や休日を利用して行った
ウ フィールドワークを行わなかった
エ 総合学習を利用して行った
オ その他

表2 「身近な地域を調べよう」の単元計画

学習テーマ	時数	学 習 活 動	資料活用の技能表現や社会的な思考・判断を高める手立て
新しい唐津市の特色と浜玉町の特色を探してみよう	1	8市町村が合併して平成17年1月に誕生した唐津市の特色を、景観写真や地形図、統計資料などを用いて明らかにする。	プレゼンテーションソフトを使って旧市町村各地の写真等を提示し、共通点や特色のある点を見いださせる。
地形図の使い方をマスターしよう	1	新旧の地形図を比較したり、縮尺の異なる地形図を比較したり、距離を計算したりして、地形図の使い方を身に付ける。	2点間の方位と距離の求め方については例題を示し、定着するまで練習問題を繰り返し行う。
唐津市浜玉町について調べる課題を探してみよう(本時)	2	地形図と衛星写真を比較して見たり、統計資料や新聞記事データベースを利用したりして、浜玉町について調べる課題を探す。	地形図や統計資料とインターネットを組み合わせて、地理的事象を多面的・多角的に考察させる。
調査活動をしよう	2	統計資料をはじめとする多様な資料を収集し、課題に対する答えをより確かなものにする。	各自の課題に応じて多様な方法で調査活動を行わせ、目的に応じた資料を収集させる。
調査の結果をまとめて発表しよう	2	調査した結果を、その内容にふさわしい表現方法を用いてレポートにまとめる。グループでミニポスターセッションを開く。	調査結果を地図で表したり、適切なグラフで示したりして、分かりやすく表現させる。

(2) 本時の展開 (3 ~ 4 / 8)

ア 本時の目標

- (ア) 自分たちが住んでいる地域の調査方法について関心を高め、意欲的に追究することができる。
- (イ) 地域的特色を明らかにすることにつながる地理的事象を見いだすことができる。
- (ウ) 地形図や統計資料を効果的に使うことができる。

イ 展開

段階	学習活動・学習活動	指導上の留意点
導 入	1 前時の復習をする。 地図記号や方位についての10問テスト 2 学習課題をつかむ。	解答をして誤答率が高かった記号については、説明をする。
	唐津市浜玉町について調べる課題を探して決定しよう！	
展	3 地形図と衛星写真を比べて見て、地形の特色から気付いたことを出し合う。 地形の特色をつかむ。 土地利用の様子や分布を見る。	海岸部、虹ノ松原、平野部、山間地、分校がある地区などに分けて見せ、土地利用の様子を大まかにつかませる。
		<p>浜玉町は海もあるし、高い山もあるね。</p> <p>果樹園の記号は、等高線の300メートル以下にたくさんあるね。</p> <p>地形図の果樹園の記号とGoogleマップで見えるビニールハウスやみかんの葉色を対照的に見させて、分布の特色をつかませる。</p>

西九州自動車道の唐津道路が開通したら，国道202号バイパスを通る自動車の数は変化するか予想する。

西九州自動車道の方が早く目的地に着くから

【増える・減る・変わらない】

人や物の動きを支える道路と鉄道網を，Googleマップで縮尺や範囲を動かしながら確認させる。

- S 「コンビニがないから利用しないと思うな。」
- S 「佐賀新聞の記事データベースには，通行料無料とあったから増えるよね。」
- T 「縮尺を変えて福岡市も見えるようにして，衛星写真と路線図を切り替えて見てごらん。」
- S 「唐津市南部から福岡に行く人，逆に福岡から伊万里の方へ行く人は，時間が短縮できるから利用するよね。」

理由付けができていない生徒には福岡市を含む縮尺の地形図や路線図を見て考えるよう助言をする。

4 統計資料や佐賀新聞記事データベースを利用して，浜玉町の産業の特色や課題を探す。



果樹生産額や通勤・通学先割合，観光客の推移などの資料を事前配布しておく。

通勤・通学者や観光客の移動，果物の輸送方法に着目させる。

同じ人口規模の牛津町と比べて，福岡市への通勤通学者が多いなあ。

なぜ観光客が多いのかな。夏休みの海水浴や浜崎祇園祭の観光客かな。

5 自分が調べる課題を決定する。



なぜ，その課題に決めたのか理由を明示させる。

なぜ浜玉町ではハウスみかんの生産額が高いのかな？

なぜ西九州自動車道のICが大江地区にできるのかな？

- T 「いつごろから生産額が増えていきますか？」
- S 「昭和50年から。そのころ果樹園が増えたのかな。最近新しい選果場ができたし，栽培が盛んになった理由は何だろう。」
- T 「肥前町や玄海町では，海まで迫る棚田で米を栽培していたけど，浜玉町では平地でもハウスみかんを栽培していますね。栽培地域や出荷方法を調べてみたら。」

T 「2万5千分の1の地形図で大江地区を通る国道や県道を見てごらん。その道が，どことつながっているかをGoogleマップで縮尺を変えて見てごらん。」

6 調べる方法を考える。

- 公民館で調べる
- 本
- パンフレット
- 役場で聞く
- J Aで聞く
- 家族にインタビュー
- お年寄りの人に聞く

1つに絞らせずに，たくさん考えさせる。

開

まとめ

(3) 学習過程が見えるワークシート

宿題にしていたクイズを、第1時のまとめの段階で解答しました。生徒が調査課題を設定する際、クイズの問題と解答も参考にしていたことが分かります。

浜玉町を知っていますか？ クイズ ○ or ×

1年組 号 氏名 []

◎次の1～15の問題を読んで、予想のらんに○か×を記入しなさい。自分で調べたり、家の人や近所の人に質問しなさい。
※下の問題文中の浜玉町、呼子町、牛津町、唐津市は、それぞれ合併する前の市や町のことです。

番号	問題	予想	正解
1	浜玉町の人口は1万人をこえている。	○	○
2	浜玉町で最も高い山は700mをこえている。	×	○
3	浜玉町は1956（昭和31）年に浜崎町と玉島村が合併して誕生した。	○	○
4	浜玉町は誕生してから10年間は浜崎玉島町という町名で呼ばれていた。	×	○
5	虹ノ松原は日本三大松原の一つで、今から約400年前に植林され、守られている。	○	○
6	玉島川の水は唐津市の上水道の水として使われている。	×	○
7	玉島川は鮭が戻ってくる日本で最も南の川である。	○	○
8	浜玉町では真珠と伊勢エビが養殖されている。	×	×
9	浜玉町では、みかん、ぶどう、キウイ、りんご、バナナが栽培されている。	○	○
10	浜玉町の年間観光客数は、有田焼や陶器市で有名な有田町の年間観光客数よりも多い。	×	○
11	浜玉町の年間観光客数は、武雄市と呼子町の年間観光客数を合わせた人数よりも多い。	×	○
12	1983（昭和58）年に国道202号が浜玉町に開通した。	○	○
13	浜玉町から福岡市に通学している人の数は、同じ程度の人口である牛津町から福岡市に通学している人の数よりも多い。	×	○
14	2005年1月1日に唐津市と東松浦郡すべての町・村が合併して、新しい唐津市が誕生した。	×	×
15	2005年のうちに、浜玉町と大江地区に西九州自動車道路のインターチェンジができる。	○	○

ポイント1

教材研究の段階でインターネットを活用し、授業に役立つデータを収集する。そのデータを利用して予習課題を作成し、授業への関心を高めさせておく。

左下のワークシートを書いた生徒は統計資料のデータを見て、みかん生産が全国有数の佐賀県の中でも、浜玉町の生産額が高いことに注目しています。また、新旧の地図を見比べて、国道や自動車専用道路の変遷にも注目しています。

最終的に設定したのは「国道202号はいつごろできたのか？」という課題でした。その理由として、「昔と今の地図を見比べてみると、昔(昭和44年)の地図には載ってなかったので一番疑問に思ったから」と書いています。

身近な地域を調べよう ワークシートNO.3

「唐津市浜玉町について調べる課題を探して決定しよう！」

1年組 号 []

- 浜玉町の地形の特色について説明しなさい。
海が近い。高山も低い山もある。
- 浜玉町の土地利用の特色について説明しなさい。
農業がさかん。
- 2005年12月、西九州自動車道の唐津道路が開通したら、国道202号バイパスを通る自動車車の数は、【 増える・減る・変わらない 】と思います。
その理由は、西九州道路が202にあるコンビニがないからあまり変わらないと思う。
- 地形図、統計資料、佐賀新聞のデータベース、Google マップなどを利用して、
(1) あなたが調べてみたい学習課題(テーマ)を探しましょう。
(2) あなたが調べてみたい学習課題(テーマ)を、3つ以内で書きなさい。
例1：なぜ○○○は○○○○○か？
例2：○○○○が○○○○○に変わってきたのはなぜか？
候補①：西九州道路が通らなくなったのはなぜか？
候補②：なぜ、浜玉町はみかん生産額が高いのか？
候補③：国道202号(線)はいつごろできたのか？
- 上の4の(2)の候補の中から、学習課題を1つ選びましょう。
学習課題：国道202号(線)はいつごろできたのか？
その課題に決定した理由は、昔と今の地図を見比べてみると、昔(S44)の地図には載ってなかったのだから一番疑問に思ったから。
- 学習課題を調べるために、調べる方法を1つでも多く考えて、かき書きでメモしなさい。
インターネット、本(図書館)、家族の人たちに聞いてみる

ポイント2

調査活動の段階でインターネットを活用し、地形図やパンフレットなどの資料と組み合わせて土地利用の空間的特色に気付かせたり、時間的変化を比較させたりする。

調査活動を進めていけば、旧202号のバイパスとして建設されたこと、その後都市化も進んできたこと、西九州自動車道路が建設される理由についても関連付けていくことになるでしょう。

ポイント3

縮尺や範囲をすばやく変えられるインターネットの地図利用は、他地域との結び付きを考えるとときに効果が大きい。

4 評価問題作成の工夫と考察

(1) 一問一答ではなく、思考・判断したことを短文で記述させる

問．西九州自動車道が開通したら，インターチェンジに近い大江や横田上地区では，土地利用が変化するでしょうか。あなたの予想を〔変化する・変化しない〕から1つ選び，そのように考えた理由を書きなさい。

解答例

予想	変化する
理由	開通すると，利用客が多くなり，コンビニが必要になってくるので，変化すると思う。

考 察

新旧の地形図やGoogleマップを使い，国道202号・202号バイパス・西九州自動車道路の位置関係と沿線の土地利用の特色をつかむ作業をさせたことから，道路が開通すれば，農地が多い地域の土地利用が変化すると判断したと推察されます。実際に，開通に合わせて建築資材倉庫が建設されました。今後，道路が延伸されて交通量が増えれば，コンビニエンスストアなどの小売店が立地する可能性はあります。このように，取り上げる題材は身近な事例であっても，一般性や共通性がある地理的な考え方を短文で表現させることは大切です。

平成17年3月実施の県立高校後期試験では，ある地域の新旧の地形図と耕地面積・世帯数の変化を示すグラフを見て，地域がどのように変化をしたのか簡潔に書かせる問題が出されました。1つよりは2つ，2つよりは3つの資料を組み合わせて考察した結果を簡潔に書かせることは，多面的・多角的に思考・判断し表現することの訓練になるので，繰り返し取り扱うようにしましょう。

(2) 作業的・体験的学習の過程を再現させる

問．あなただったら，浜玉町のみかん栽培以外のことで，どのような テーマを設定して調べ学習をしたいですか。 調べたい理由と 調べる方法(2つ以上)も考えて書きなさい。

解答例

テーマ	浜玉町では何の果物がどこで作られているのか。
調べたい理由	浜玉町では，たくさんの果物が作られているから，何種類がどこで作られているかを調べたいから。
調べる方法	地図を持って調べに行く。 JAや農家の人に話を聞きに行く。

考 察

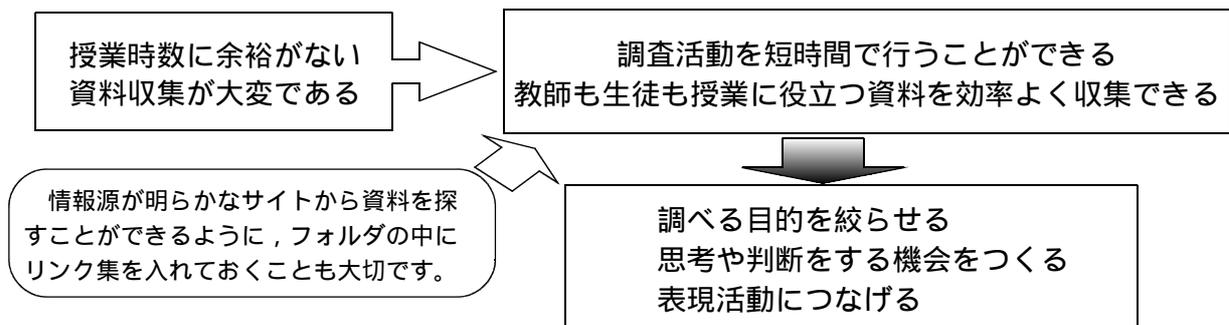
インタビューの内容を考えたり，課題を設定したりという学習過程を再現させることは，思考・判断や表現をする順序や方法を再確認させることにつながります。「もし， の学習活動を行うとしたら……」というシミュレーション的な出題の仕方でも，繰り返し行うことにより，同種の問題の無回答率は低減できると考えられます。

5 地理的分野の授業改善のために

(1) インターネット利用のポイント

平成16年度佐賀県学習状況調査における地理的分野の課題は、内容「地域の規模に応じた調査」の「社会的な思考・判断」と「資料活用の技能・表現」の力を高めることでした。これらの力をはぐくむためには、見学や調査、制作や発表などの作業的・体験的な学習活動を行うことが効果的です。

この見学や調査に費やす時間を節減しつつ、授業に役立つ資料を集める方法の一つがインターネットの活用です。その活用のポイントを3つにまとめました。



(2) 無料で地図を閲覧できるWebサイト

ア 国土地理院を利用する

写真1は、縮尺が2万5千分の1の航空写真です。同じ縮尺の図5の地形図と並べると、唐津湾や虹ノ松原の広がり、低地と山地の分布が分かります。



写真1 航空写真(唐津)



図5 彩色地形図(浜玉町)

閲覧方法は、[トップ]
[地図・空中写真地理

調査] [空中写真閲覧] [空中写真閲覧システムへ] [索引図・唐津]です。

イ 日本地図センターを利用する

図5は、2万5千分の1の地形図に彩色がされているので、土地の高低が一目瞭然です。大型カラープリンターで印刷すれば、教室に掲示して地形図の学習にも活用できます。[トップ] [地図図を見る] [彩色地形図] [20万分の1地勢図 福岡] [2万5千分の1彩色地形図 浜崎]

[<http://net.jmc.or.jp/saishiki/index.asp>]

ウ Googleマップを利用する

Googleマップは、検索サイトのGoogleが平成17年7月から始めたサービスです。マウスドラッグで地図をスクロールするのが特徴です。しかも、ボタン1つで、地図から写真への切り替えが可能です。写真は、地球規模の衛星写真から縮尺500分の1程度の航空写真まで見ることができます。大都市であれば、ビルや駐機中のジェット機の機種まで判別できます。

Googleマップと連動したGoogleローカルでは、施設や店舗の情報を検索し、地図上に位置と住所を表示することができます。

Google[トップmore] [マップ]

[<http://maps.google.co.jp/>]

(3) 授業に役立つ佐賀県のWebサイト

ア 佐賀県庁のホームページ

佐賀県庁のホームページは、身近な地域の調査はもちろん、必修となっている佐賀県の学習にも大変役に立ちます。概要・統計のページには、人口の動向、農林水産業、商工業、環境などのデータが図表で公開されています。統計情報は、[トップ] [県の概要・統計]です。

[<http://www.pref.saga.lg.jp/at-contents/gaiyou/index.html>]

イ 佐賀新聞社の記事データベース

佐賀新聞の記事データベース検索は、全国でも珍しく無料(読者)サービスとなっています。佐賀県の出来事はもちろん、国内外のニュースも過去10年くらいにわたって検索できます。地理的分野の他の内容や歴史的分野・公民的分野での教材・資料収集にも役立ちます。

[<http://www.saga-s.co.jp/>]

(4) 他の内容・分野でも役に立つインターネットの活用

インターネットを活用すれば、現地調査が困難な「都道府県」と「世界の国々」の授業でも、効率的に効果的な調査活動を行うことが可能になるでしょう。調査目的に合った最新の統計資料、地図や写真、新聞記事などを、教師も生徒も短時間で収集できます。情報を収集する段階で必要な情報を取捨選択し、活用する段階で情報を加工したり表現方法を工夫したりする学習活動は、思考力・判断力・表現力を育成することに直結すると言えます。

地理的分野の「(1)世界と日本の地域構成」と「(3)世界と比べてみた日本」の内容でも、必要に応じてインターネットを活用することは、生徒が「地理的な見方や考え方及び地図の読図や作図、景観写真の読み取りなど地理的技能を身に付ける」⁽⁶⁾ために役立つでしょう。Webページには、文字だけのページは少なく、図表や写真が豊富に含まれており、総合的に情報を読み解く作業を続けていけば、PISA(OECD生徒の学習到達度調査)型読解力の育成にもつながると言えます。

インターネットを活用して必要な情報を取捨選択する学習方法は、古今東西の歴史的事象を扱う歴史的分野や、国内外の政治・経済・社会の変化が激しい公民的分野の授業においても、大きな効果を発揮するでしょう。

(5) ITを活用した学習活動を

コンピュータ室で調べ学習をするというのは、年間に何回も設定はできないでしょう。だからといって、コンピュータを活用しないのは、もったいないことです。近年、校内LANの整備が急速に進展しています。視聴覚室や教室にパソコンを持ち込み、プロジェクターやスマートボードを使って、図表にした統計資料、写真や動画などを提示しましょう。

古いデータ	最新のデータ
文字データ	図表
写真	画像や音声

より新しく、分かりやすい客観的なデータを示して、資料を活用したり、思考や判断をさせたりする学習活動を、1単位時間の中で、5分でも10分でも行うようにしましょう。短時間でも作業的・体験的な学習を展開し、資料活用の技能や表現、思考や判断の力を高めていきましょう。

(6) 社会科授業におけるコンピュータ活用実践事例の共有化を

短時間でもコンピュータを活用した授業に取り組んでみて、作業的・体験的学習がより効果的かつ効果的にできるとともに、社会科の学習がよりよく変革できる可能性を実感しました。県や各地区の社会科研究会等で、コンピュータを活用した授業の実践事例の共有化を進めて行くことが大切です。

《歴史的分野編》

1 歴史的分野の基本構想

(1) 現状と課題

平成16年度の「学習状況調査報告書」によると、歴史的分野では各設問ごとに見ると、第1学年よりも第2学年で、全国通過率を下回る問題数が多くなっています。県全体通過率と全国通過率との差が大きかった問題内容は、次のようになります。

写真と年表を見て学習課題を設定する。
明治時代の対外政策の流れを理解している。
資料を分類し、そのまとまりに適切な表題を付ける。

全体的な傾向として、歴史的事象についての知識や理解はある程度定着しているものの、資料を読み取って課題を設定したり、歴史的事象の因果関係を考えて文章で表現したりする力が十分であるとは言えないようです。

(2) 基本的な考え方

上記の課題を解決するためには、歴史的事象について資料を基に思考・判断したことを文章で表現する学習活動を展開することが考えられます。そこで、次の2点を重視して実践を進めました。

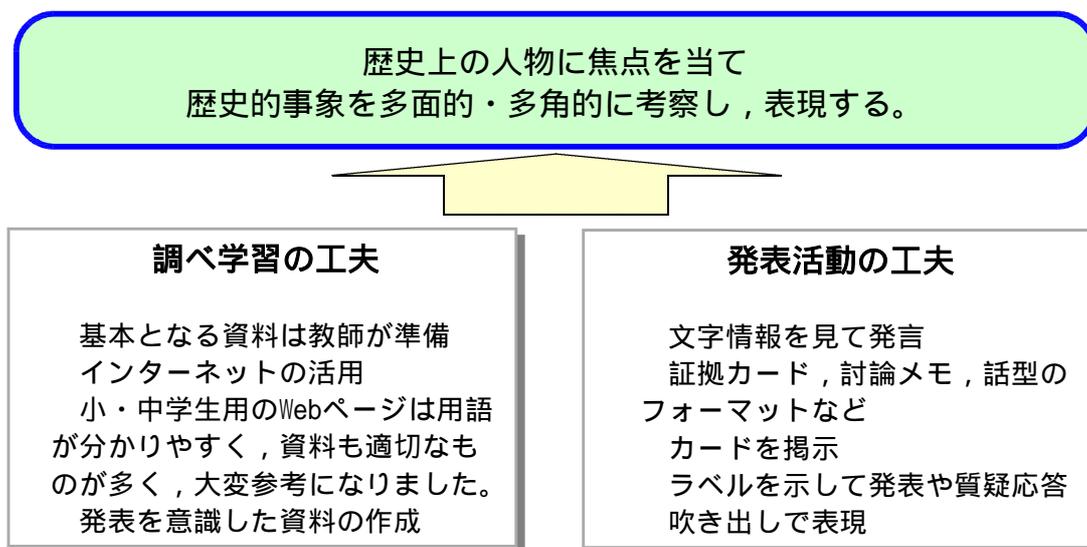
ア 人物に焦点を当てた歴史学習を取り入れることで、小学校における歴史学習との共通性をもたせています。このことは、生徒の思考を促進させることに有効であると考えます。

イ 政策や制度を評価する際の見方や考え方の定着に関しては、他者の意見の根拠に着目させるためのワークシートを準備することと、印象に残った見方や考え方をファンレターの形式で、文章表現させる手立てをとっています。

2 授業改善の工夫

歴史上の人物の政策や行動について調べ学習を行い、その人物を支持する根拠を明確に示す形で発表させる活動を設定しました。調べ学習と発表活動を通して、「社会的な思考・判断」と「資料活用」の力を高めるとともに、表現しようとする意欲を引き出そうと考えました。

調べ学習と発表活動では、時間数を掛けずに適切な学習活動になるよう次のことに配慮しました。



3 授業の実際

(1) 単元の構想

本単元では板垣、大隈、伊藤の3人に焦点を当て、それぞれの考えた国家像を対比させることで、より生徒の興味・関心を高めていくことができると考えました。「立憲政治を進める上で、誰を一番支持するか」という視点から3人についての調べ学習をグループ別に行い、それぞれ支持すると判断した根拠を明確に示す形で発表させる活動を設定しました。

表3 単元の指導計画(全8時間)

学習テーマ	時数	学 習 活 動	資料活用の技能表現や社会的な思考・判断を高める手立て
自由民権運動の発生から国会開設までの流れを知ろう。	1	3人の人物を中心に、自由民権運動から国会開設までの大まかな流れを理解する。	人物に関する資料や年表を見せ、国会開設までの大まかな時代の流れを図で表現させる。
自由民権運動の意義や大日本帝国憲法の制定について知ろう。	1	自由民権運動が起こった時代背景と大日本帝国憲法の内容を理解する。	ビデオ教材「自由民権運動と立憲政治の始まり」を視聴させ、自由民権運動が起こった背景を考察して文章でまとめさせる。
3人の中から調べる人物をグループで話し合っ決めてよう。	1	3人のプロフィールを読んだり、明治維新の人物関係図を見たりして、自分の立場を決定する。	ワークシートを利用して、3人の考え方を整理し、比較・検討しやすいようにする。立場を決めた理由を書かせる。
グループごとに一番支持する人物について調べよう。	2	資料集やインターネットを活用して多様な資料を収集する。また、視点を明確にして支持する人物の理由付けを補強する。	収集した資料の中から、討論会で利用できる資料を取捨選択する。出典を添えた証拠カードを作成させる。
中間アピールと相手への反論を考えよう。	1	5分間のアピールタイムを利用して、相手グループへの反論を考える材料を探す。	反論を考えることにより、多面的・多角的に考察させる。
中間アピールや質問を基に、発表資料をまとめよう。	1	調査した人物の考えについて、必ず根拠を示してワークシートや発表資料にまとめよう。	全員に発表原稿を作成させる。発表資料は、根拠となるデータの部分が見えやすいように、視覚的に工夫して作成させる。
3人の考えについて討論し、最終的に誰を支持するか考えよう。	1	人物の考えについて根拠を示して説明したり、反対意見を述べたりする。発表会を踏まえて支持する人物を決定する。	質問や反論を考えることにより、3人の考えを比較検討し、価値判断をさせる。

(2) 本時の展開

ア 本時の学習「立憲政治を進める上で、3人のうち、誰を一番支持するかをアピールしよう。」

イ 本時の目標(8/8時間)

(7) 自分たちのグループが調べた人物の考えについて根拠を明確に示して筋道を立てながら説明できる。【思考・判断】

(1) 自分の一番支持する人をアピールしたり、手紙を書いたりすることで、自分なりの言葉で表現する力を身に付けることができる。【技能・表現】

ウ 展開

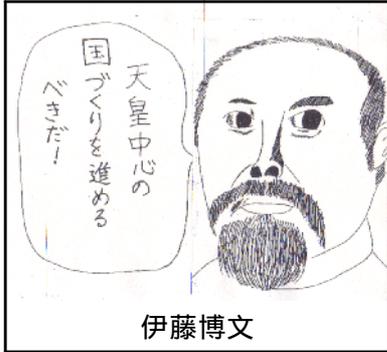
段階	学習内容・学習活動	支援・指導上の留意点
導入	<p>1 本時の学習内容とめあての確認</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>立憲政治を進める上で、3人の人物のうち、誰を一番支持するかをアピールしよう</p> </div>	<p>本時の学習に向けて、意欲を高めさせる。</p>
展開	<p>2 各グループからの発表 それぞれの人物の考えについて発表する。 それぞれのグループに対する質問を考えながら、発表を聞く。 板垣退助グループ 大隈重信グループ 伊藤博文グループ</p>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>板垣は、国民主権・自由主義の自由党をつくりました。政府に税を納める者は、政府に対して意見を言う権利をもっていると主張しました。このことは、資料集118ページの民撰議院設立建白書に書いてありました。</p> </div>	<p>フローシートに発表内容のラベルと要約メモを書かせ、発言の流れや主張の違いが明確になるようにさせる。</p>
展開	<p>3 他のグループへの質問事項の話合い</p> <p>4 グループの間での質疑応答（討論） 他のグループに対して質問し、質問されことに応答する。</p>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>民選議院を開くことよりも、天皇中心で富国強兵の方を優先すべきだとは思いませんか。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>国民の意見を無視して憲法草案を作るのは、薩摩や長州藩出身者など一部の人による政治です。それよりも、国民みんなが協力して日本を豊かにすべきです。</p> </div>	<p>中間アピールを基に準備しておいた反対意見を補強させる。</p> <p>生徒の意見を要約して、板書する。</p>
開	<p>5 最終アピールについての話合い 自分たちの調べた人物のせりふという形でまとめる。</p>	<p>せりふカードに似顔絵をかかせ、吹き出しの中に言葉を書かせる。</p>

展

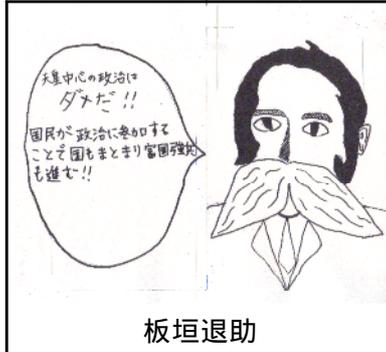


よい表現は評価する。

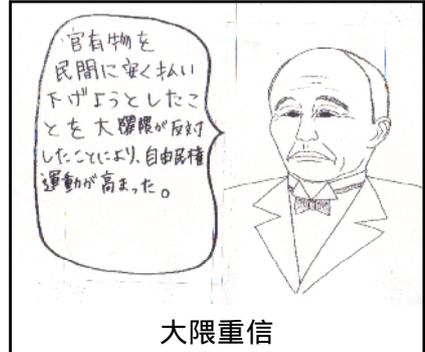
開



伊藤博文



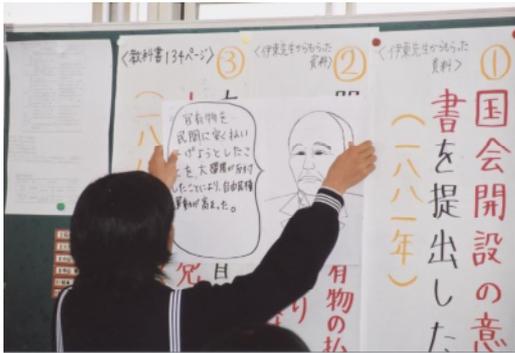
板垣退助



大隈重信

6 自分たちの調べた人物の考えについて、よい点を最終アピール

他の人物の考えと比較させて結論を言わせる。



Aは... , B...は... , Cは... であり、比べると...なので...が優れている。

価値の比較をさせることにより、多面的・多角的に思考・判断させる。

まとめ

7 3人の人物の考え方についての評価最終的に誰を支持するか、挙手によって示す。(意思決定をする。)

生徒個々の判断で手を挙げさせる。特に立場の変わった生徒に、判断した根拠を言わせる。

8 課題を聞く手紙を書く。(家庭学習の課題)

手紙を書かせることで、一人一人自分なりの言葉で表現させる。

調査や制作, 討論という作業的・体験的学習を通して思考・判断した学習過程を整理し, 手紙の形をとって文章で表現させる。

(3) ファンレターの評価基準

伊藤・板垣・大隈の中で最終的に選んだ人物へファンレターを書かせました。ファンレターは、表4の基準に基づいて、A・A・B・Cの4段階で評価をしました。

表4 歴史上の人物へのファンレターの評価基準と各段階の割合

段階	評価の基準	割合(人数)
A	<ul style="list-style-type: none"> 立憲政治を進める上で支持する人物が果たした事実内容を詳しく書いている。 理由を付けて自分の意見が述べられている。 他の2人と比較して書くことができています。 自分で調べたことが書かれている。 授業で討論したことについて書かれている。 (4つあればA) 	17%(4名)
A	<ul style="list-style-type: none"> 立憲政治を進める上で支持する人物が果たした事実内容を詳しく書いている。 理由を付けて、自分の意見が述べられている。 他の人物のことも書いている。 授業で討論したことについて書かれている。 (3つあればA) 	54%(13名)
B	<ul style="list-style-type: none"> 立憲政治を進める上で支持する人物が果たした事実内容を書いている。 自分の意見が述べてあるが、理由付けが不足している。 	25%(6名)
C	<ul style="list-style-type: none"> 立憲政治を進める上で支持する人物が果たした事実内容を部分的にしか書いていない。 	4%(1名)

(4) ファンレターの内容

ア A の例

この手紙を書いた生徒は、最初は大隈重信を支持していました。討論が進むうちに、板垣退助を支持したいと思うようになったと書いています。

その理由として、大隈の主張した立憲君主制よりも、「すべての国民で力をあわせ、国を安定させて行き、富国強兵を進めていく」という考えがすごくいい」と評価しています。

同じく板垣退助を支持した他の生徒は、次のように書いていました。

【歴史ワークシート4】 2年A組()号氏名()

A^o

(板垣退助) さんへのファンレター

明治時代の国会開設に向けての板垣、大隈、伊藤の3人の考えの中で、自分がその当時としては一番よかったと思う人にファンレターを書いてください。似顔絵やイラストなどを使って楽しい手紙になるように工夫しよう。

私は最初大隈重信を支持していましたが討論が進んでいくうちに板垣退助が一番支持したいと思うようになりました!!

板垣さんは、大隈さんとは違ってすべての国民の権利を主張し、私は、そんな方がいいと思います。板垣さん支持の理由は、天皇や、資本家などだけが国の政治を進めていくことにはおもしろいですが、身がたご関係なく、国民すべてで国を動かしていくべきだと思います。すべての国民で力をあわせ、国を安定させて行き、同時に富国強兵を進めていくという板垣さんの一石二鳥な考えがすごくいいと思いました!!

「国会を開け!」「憲法をつくれ!」という意見は、板垣さんと大隈さんは同じでした。そして、国会は10年後に開くと約束され、憲法は1889年に「大日本帝国憲法」が発布されました。しかし、憲法については大隈と意見が対立しました。

大隈は立憲君主制という党の性格通りの憲法ができて良かったと思います。しかし、板垣さんの国民主権という望み通りの憲法ではなくてとてもガッカリされたと思います。しかし、あきらめずに頑張り国民主権を訴えていた板垣さんはとても立派だと思いました!!

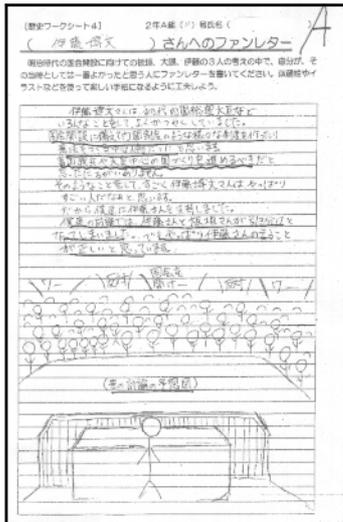
そんな板垣さんを尊敬したい!!と思います!!



板垣退助さん

あなたは、自分の利益ばかりを考えている薩摩や長州の出身者と違って国民のことをよく考えている。(中略)私は、あなたの活躍の中でも、民撰議院設立の建白書を出したことが、当時の日本にとって、大きな影響をおよぼしたと思います。その建白書がなかったら、自由民権運動が起きなかったかもしれません。また、その建白書がなかったら、憲法はつくられず、国会を開かれなかったのかもしれないのです。だから、あなたが民撰議院設立の建白書を出して日本の国は大きく進歩させたのでしょ

イ Aの例



伊藤博文さんは、初代内閣総理大臣などいろんなことをして、よく活躍していました。国会開設に備えて内閣制度のような様々な制度を作ったり、憲法をつくる中心人物だったと思います。富国強兵や天皇中心の国づくりを進めるべきだと思ったに違いありません。

そのようなことをして、伊藤博文さんはやっぱりすごい人だなあとします。だから僕たちは伊藤さんを支持しました。

僕たちの討論では、伊藤さんと板垣さんが引き分けとなっていました。でも、やっぱり伊藤さんの言うことが正しいと思っています。

ウ Bの例

板垣退助さんへ

あなたの行動は、とても素晴らしかったと思います。国民の意見を取り入れ、自由民権運動の中心人物になり、また、国会が必要なことを訴えた建白書を政府に提出し国会開設を実現させました。私が一番感心したのは、板垣退助遭難事件です。演説中に男におそわれ負傷したにもかかわらず、名言を残しました。私は、板垣退助らの活躍で今の国会があるのだなと思います。

国民の意見を取り入れず天皇中心の政治をしているとしたら(板垣らの活躍がなければ)今も戦争などで、争っていたかもしれません。国民の考えを大切に、それを政治に反映させようとしたあなたはすごいと思います。

エ Cの例

板垣さんへ

民撰議員設立の建白書を明治政府に出したことが分かりました。あと国民主権・自由主義の自由党をつくったことが分かった。

4 評価問題と解答例，分析

(1) 問題作成の工夫

2 学期末テストで，課題学習と関連付けた問題を作成・出題しました。次の問題では，板垣，大隈，伊藤を順位付けすることにより，主に調査した人物だけではなく，他の 2 人の政策や業績も含めて比較して判断をさせ，短文で記述させたところに特徴があります。

問．立憲政治を進めていく中で，日本の近代化に貢献した「板垣退助，大隈重信，伊藤博文」3 名の人物のうち，あなたは誰を一番に支持しますか。3 名の人物をランクづけ(1～3 位) 下さい。ただし，ランク付けした理由も必ず書くこと。

(位) 板垣退助	(位) 大隈重信	(位) 伊藤博文
そう判断した理由	そう判断した理由	そう判断した理由

(2) 解答例

1 位の支持率	そう判断した理由
板垣退助 (54 %)	<ul style="list-style-type: none"> 自由を唱えた。国民全員のことを考えていたから。 国民の人たちのことをよく考えて発言・行動をしたから。 国民の意見を取り入れた政治にしようとしていたから。 国民の権利を 1 番に考えていたから。しかも国民はみんな平等にしているところが他の人とは違うから。
大隈重信 (4 %)	<ul style="list-style-type: none"> 国民のことを考えていて，立憲改進黨を結成したりと様々な活躍をしていたから。
伊藤博文 (42 %)	<ul style="list-style-type: none"> 大日本帝国憲法をつくるなど，国民のことを考えていたら。 初代内閣総理大臣でもあり，日本のために天皇が中心となって行っていく政治を作った人物だから。 立憲政治は憲法に基づいて進められる政治で伊藤さんはその憲法を作ったから。

(1 位) 板垣退助	(2 位) 大隈重信	(3 位) 伊藤博文
そう判断した理由 国民の権利を一番に考えていたから。しかも，国民はみんな平等にしているところが他の人とは違うから。	そう判断した理由 国民のことを少し考えていたから。国民といっても，資本家など金持ちのことなどしか考えていなかった。立憲改進黨も君主制で，天皇中心と考えていたから。	そう判断した理由 国の中心のことしか考えていないから。自分たちだけで国を無理やりまとめられるわけがないのに，天皇をはじめとする偉い人たちだけで政治を動かそうとしていたから。

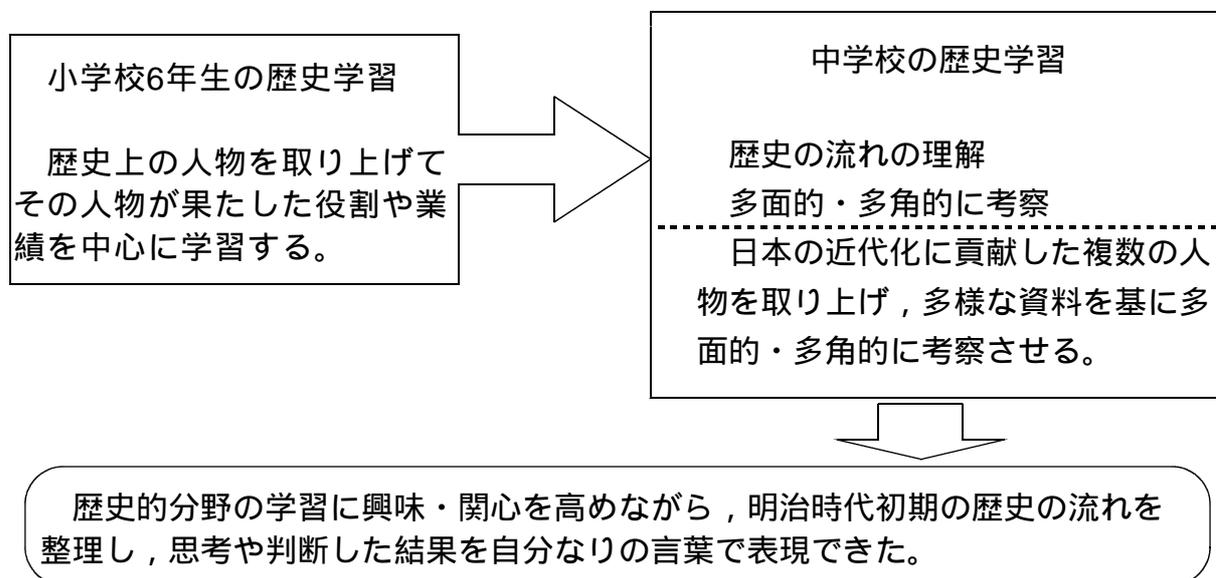
(3) 分析

ランク付けした判断理由を，3 名の人物を比較しながら述べた解答がありました。これは，今回の授業の取組が表れたものであると推察できます。ただし，その人物の政策のみを記述しただけでランク付けしたものもありました。

5 考察

(1) 人物に焦点を当てた歴史学習の工夫

小学校の社会科では、人物中心の歴史学習を行います。それに対して、中学校では、歴史の流れを重視した学習を展開します。人物が歴史的事象に果たした役割や生き様は、あまり扱われることはありません。今回の実践では、小学校の歴史学習との関連を図りつつ、中学校社会科の目標や内容に沿った歴史学習を展開しました。



(2) 生徒の変容

ア 討論学習の前後で

討論学習に向けて、生徒全員が人物を支持する理由を考え、発表原稿や反対意見を述べる原稿を準備しました。これらの作業により、適切な資料を基に根拠を挙げて主張をするという意識が高まりました。

また、生徒が支持した人物にファンレターを書くという作業をすることで、自分なりの言葉で表現しようとする意欲が高まったようです。ある生徒は、ファンレターの中に「また、このような討論ができるといいです」と書いていました。みんなでいろいろな考えを出し合い、友達の意見を聞いて自分の考えをまとめ、自分なりの言葉で表現するという活動に関心をもち、次の学習への意欲を高めることができたようです。

イ 学習状況調査で

平成17年12月に実施した学習状況調査の歴史的分野では、「大名の考え方に反対する立場の意見を記述する」設問がありましたが、本校の通過率(準正答を含む)は58%で、県通過率を5.5ポイント上回りました。また、複数の資料を活用して比較したり推察したりしたことを短文で表現する設問や、資料を見て学習課題を設定する設問などに対応できる力が身に付いてきたと推察できます。これは、授業の中でも複数の立場をとらせ、考察させるような授業改善を行った成果であると考えます。

《公民的分野編》

1 公民的分野の基本構想

(1) 現状と課題

学習指導要領では「国際社会に主体的に生きる日本人としての資質や能力を広い視野に立った社会認識を通して育成する」⁽⁷⁾ために「学び方を学ぶ学習の充実を図り、自ら学び、自ら考える力を育成」⁽⁸⁾することが重要である、と示しています。公民的分野においては、「政治や経済の見方や考え方の基礎と公正に判断する能力と態度を一層養うことができるようにする」⁽⁹⁾ことが具体的な改善事項となっています。

しかし、政治や経済の内容を扱う公民的分野の指導においては、講義形式での授業に偏ることが多く、社会科を「暗記教科」と言わしめる一因となっははいなかったでしょうか。また、評価問題についても、定期テスト等では知識・理解を問う問題が多くを占め、生徒に「覚えておかなければ点数が取れない」という意識を自然と植え付けることになってはいなかったでしょうか。

佐賀県学習状況調査では、第3学年が対象学年となっていないため、公民的分野の分析はありませんが、表5を見ると、地理的分野・歴史的分野と同様の課題が浮かび上がってきます。

表5 平成16年佐賀県立高校後期入試問題の内容と得点率

問題番号	問 題	得点率(%)	観点
5 - 3	2つの資料を基に最高裁判所が憲法の番人と言われる理由を説明する。	32	1・2・3
5 - 4	資料から選挙の問題点を発見し、解決のためのプランを考えて説明する。	58	2・3
6 - 1	3つの資料を参考にインターネット社会の現状を説明する。	61	1・2・3
6 - 4	労働三権の組合せとして正しいものを選択する。	79	1
6 - 5	資料を参考に少年犯罪の現状を正しく説明した文を選択する。	76	2・3

- 問題分類の観点
- 1 社会的事象についての知識・理解
 - 2 社会的事象についての、系統的、総合的な思考力や判断力
 - 3 地図や図・表・写真などの資料から、多面的・多角的に読み取る能力や表現力

問題番号6 - 4、6 - 5のように、正しいものを選択するタイプの設問では、8割近い得点率に達しています。それに対して、得点率が低い設問は、複数の資料を基に理由を考えたり、問題解決策を考えたりしたことを簡潔に説明する内容でした。このような学習過程を、できるだけ授業に位置付け、指導と一体となった評価問題を作成・実施する必要があると言えます。

(2) 基本的な考え方

平成16年度の「学習状況に関する実態調査資料」⁽¹⁰⁾には、公民的分野の指導方法改善の方向として、次のような記述があります。

最新の情報を有効に活用し、具体的な事例を通して学習できるよう工夫したい。

社会的な問題に対して自分なりの価値判断ができるように、レポート作成や討論等を通して、生徒の思考・判断力を高め、社会の問題に対して興味・関心を高めるように工夫することが重要である。

今日的な課題に対して生徒自らが積極的にかかわり、課題を自分のこととしてとらえ、問題の原因や影響を考え、問題解決を図るような態度や能力を育成するように学習過程の構成を工夫することが重要である。

このような学習を、授業時数が少ない公民的分野で進めるために、ワークシートを工夫しました。

1 単位時間の学習過程が見えるワークシートで
作業的・体験的学習を効果的に展開する。

2 授業改善の工夫

公民分野においては、教科書で学習した内容が今まさに政財界で問題となっており、教材となる話題に事欠くことはありません。そのため新聞記事やテレビのニュース番組などを活用し、その中から教師が問題を提起したり、生徒自身に問題を発見させたりして改善策を考えさせるといった学習の展開が可能です。特に、「現代社会と私たちの生活」や「地方自治」の学習においては、課題を設定した学習や作業的・体験的学習が仕組みやすいでしょう。単元レベルはもちろん、1単位時間の中でも問題を提起して考えさせる場面を設定してみましょう。

3 授業の実際

(1) 単元の計画と評価

表6 単元の計画と評価

学習テーマ	時数	学 習 活 動	資料活用の技能表現や社会的な思考・判断を高める手立て
地方自治と民主政治	1	地方自治は住民自身が地域の問題を解決する仕組みになっていることを理解し、多久市の問題点や改善策を考える。	いろいろな資料から、多久市の現状について調べさせたり、改善策を考えさせたりする。
地方公共団体の仕事と仕組み	1	佐賀県や多久市の仕事内容と仕組みを調べる。	都道府県と市町村の仕事や仕組みの特色について、図にして表現させる。
地方財政の現状と課題	1	地方財政の課題を見出し、住民として財源を確保するための方策を考える。	市報4月号「平成17年度予算」と他の自治体や全国平均の予算資料を活用し、比較をさせながら多久市の財政の特徴や課題を見いださせる。
地方公共団体のこれから	1	市町村合併を通して地方公共団体と国との関係を考える。開かれたまちの在り方を多久市にあてはめて考える。	新聞記事「文教の里再生へ～多久市の課題上 中 下」を活用し、多久市の財政と関連させながら、多久市のよりよい将来のために何に取り組むべきか考えさせる。
地方自治と私たち	1	直接請求権の意味や役割について理解する。	資料集や新聞記事の資料を基に、具体的事例について考えさせる。
くらしやすいまちを目指して(本時)	3	多久市政について、多面的・多角的に課題を見出し、よりよい方策を提言する。	提言するために必要な資料を収集・選択させる。提言に至る思考の流れが分かるようにワークシートに沿って考えさせる。提案は客観的なデータを根拠とするよう促す。

(2) ワークシートと発表資料

ワークシートは、1単位時間の学習の見通しができ、授業後に学習の過程を振り返ることができるように作成しました。ワークシートを毎時間活用することにより、調べ方や発表の仕方、データに基づいた質問や応答の仕方、客観的な資料に基づく思考や判断の仕方などを身に付けさせることに効果がありました。

6 / 8時に使用。客観的なデータに基づいて思考・判断し、短文で表現する学習過程が見えるワークシート。個人用。

7 / 8時に使用。討論で客観的なデータを示しながら、分かりやすく表現するための発表用ワークシート。グループ用。

公民ワークシートNO. 27 05年10月(12)日(水)曜日(1)校時
第3節 私たちの民主政治 第3章 多久市の住民として地方自治を考えよう

よりよい多久市のまちづくりのために 市長に提案しよう!

提言書をつくるための下準備をしよう!
(3)組()号 氏名()

【多久市の実態把握】
以前と比べて、観光客の数が減ってきている。

【問題点の発見】
歴史遺産を町づくりの核として活用する意識が薄い。
(2005年9月17日付 佐賀新聞より)

【対策案】
多久の郷土料理付きの日帰り歴史遺産ツアーを開催する。

【期待できる効果】
観光客の数が増えて、多久市全体が活気づき、町づくりに結びつく。

【その理由(証明)】
県外からの観光客がたくさん来て、町がにぎやかになり、お土産物などが売れて、多久市のPRにつながるから。

【結論(提言)】
歴史遺産を町づくりの核として活用する意識が薄いので、多久の郷土料理付きの日帰り歴史遺産ツアーを開催すると、よりよい多久市の町づくりにつながると思う。

よりよい多久市のまちづくりのための提言書②(提出用)
(2)組(メンバー:)

① 私たちは、多久市に対し、
多久の郷土料理付きの日帰り歴史遺産ツアーを開催することを提案します。

② この提言をするにいたった理由を「多久市の現状」から説明します。(黒板の図をみて下さい)
佐賀県観光動態調査の市町村別観光客の推移より以前は観光客の数が増える傾向があったが、平成11年ぐらいから年々減ってきている。これらの資料からも分かるように、多久市は()以前に比べて観光客の数が減ってきている。

③ そこで私たちは、多久市がこのような現状なのは、()が問題だからではないかと考えました。

④ ですから、この問題の対策として、()をすることが必要だと考えます。

⑤ こうすれば、()という効果が得られると期待できます。

⑥ なぜなら、()という他の自治体の例があり、成功しているからです。

⑦ ですので(①を繰り返して読み上げる)することを多久市に提案します。以上で終わります。

まず、客観的なデータを図や表にしたものをワークシートに書かせ、それを基に掲示用資料を作成させました。資料活用の技能を高めると共に、言葉だけで表現するよりも、他のグループの生徒に分かりやすく伝えることができました。

「多久駅周辺の空き店舗を利用して、活性化を図るべき」という主張の根拠となった資料

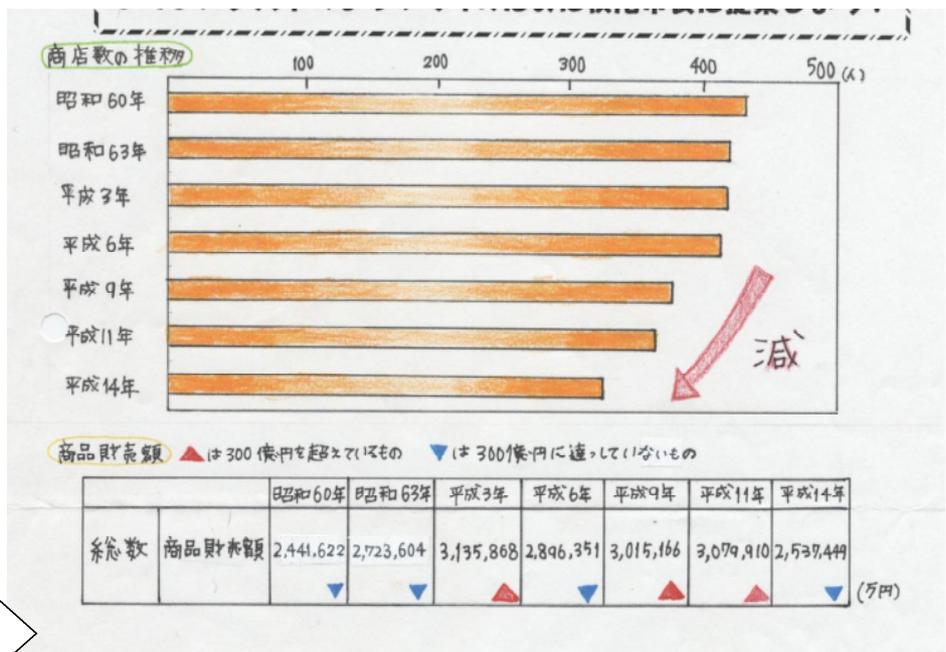


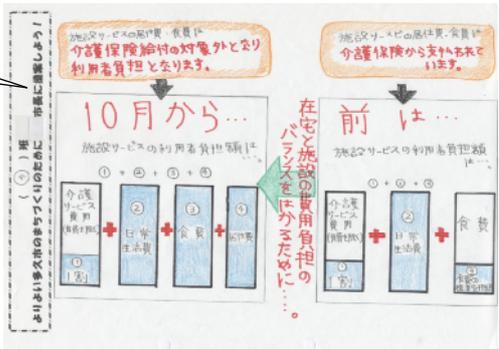
図6 発表用掲示資料の下書き

(3) 本時の展開

ア 本時の目標

よりよい多久市のまちづくりのために、根拠に基づいた最優先課題を考えることができる。

イ 展開(8/8)

段階	学習内容・活動	指導・支援上の留意点
導入	1 新聞記事に関する発表をし、傾聴する。 2 本時の学習目標・内容を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;"> よりよい多久市のまちづくりのために市長に提案しよう </div>	発表者は前もって指名し、準備させておく。
展開	3 よりよい多久市のまちづくりのために学級から市長へ提案する内容を考える。 (1) 各班で考えた内容を発表する。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px; text-align: center;"> ワークシートを活用して、客観的な資料や体験的な活動によって得られたデータを基に、論理的に説明する。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>まち・くらし 多久駅周辺の緑化を進めるべき。 歴史教室や多久の歴史についてイベントを積極的に行うべき。 店や住宅地を増やして、人口増を図るべき。</p> <p>福祉・健康 在宅の人にも介護保険から住居や食費を少しでも給付して、施設のバランスを図るべき。</p>  <p>教育・スポーツ・文化 陸上競技場に照明または外灯を設置するべき。 経済・産業・雇用 多久駅周辺に大型ショッピングセンターをつくるべき。</p> </div>	提案する班は、個人の案が類似していた者同士で構成させる。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px; text-align: center;"> 単なる思いつきの意見・要望に陥らないよう、客観的な資料や体験的な事実、インタビューなどの調査活動に基づいた意見・要望となるように注意を促す。 </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px; text-align: center;"> 例えば、数字だけの表をグラフや図式化した資料を引用しながら説明をする。 </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div> 

多久駅周辺の空き店舗を利用して、活性化をはかるべき。

東部・西部地区にも商業スペースをつくるべき。

発表者の意見の内容を簡単に記録させる。

展

よりよい多久市のまちづくりのために横尾市長に提言しよう③				
3年(3)組()号 氏名()				
班	提言のおもな内容	提言メモ	意見交換メモ	自分の感想(◎○△)
1	【まち・くらし/自然・環境】 ◆多久市は、路上のゴミを半月に1回収し、リサイクルすべし!	年間総排出量が年々増え、路上にゴミが落ちていく	路上のゴミを回収する時に使う経費は高校生費からまかなう。	(○) 経費はどこからまかなうか言っていたのでわかりやすかった。
2	【まち・くらし/歴史】 ◆多久市は、郷土料理付きの日帰りツアーを企画すべし!			()
3	【まち・くらし/人口】 ◆多久市は、土地を安くして人口を増やすべし!	人口が減ってきている土地が高いから		(○) グラフをもっと活用すればよか。たんじょはいかと思った。
4	【まち・くらし/人口】 ◆多久市は、移住者に何らかの利益が得られるようなサービスをおこなうべし!	人口が減ってきている平成は年々若人を切ろうとしている職業紹介を行うお年寄りや障害者が利用しにくい佐賀駅にはエスカレーターがある		(◎) 職業紹介を行うという意見はいいと思った。
5	【福祉・健康】 ◆多久市は、中多久駅にスロープをつけるべし!			(◎) 佐賀駅への成功例を出していてわかりやすかった。

(2) 発表内容に対する質問や意見を発表する。



開

事前に各班の発表内容の概略を皆に知らせておき、考える余裕を与えて意見を出しやすくする。

(3) 発表された意見・要望の中から最優先すべき内容を選ぶ。



個人で意志決定をする過程を通して思考と判断を迫る。

プレゼンテーションでの質問や反ばくの意見を参考にして、多久市の現状を踏まえて選ぶように説明する。

生徒全員に挙手させる。
数名に根拠を発表させる。

ま
と
め

- 4 本時の自己評価を行う。
- 5 次時の学習内容を知る。

自己評価票に記入させる。

憲法について学習することを伝える。

(4) 授業後の生徒の感想

提言を考えるのはとても難しく、資料などを見ても、して欲しいこと（提言）を的確に書くのは難しかったです。しかも、みんなで考えていたら必ずお金という問題に突き当たり、考え方が少しむちゃなことになってしまいました。しかし、いろいろ考えたことをみんなで出し合って話し合うのは、楽しかったです。

直接民主制って、私たちが提言でき、そしてその意見をキチンと聞いてくれる大切な制度なんだなぁと思いました。今は選挙権がないから、あんまり関係することはできないだろうって思ったけど、こうやって意見を言えたりできるんだあって思いました。これからは選挙とか、合併とかにも注目して市報や県報（県民だより）を読んでみたいなぁと思いました。すごく身近だから。

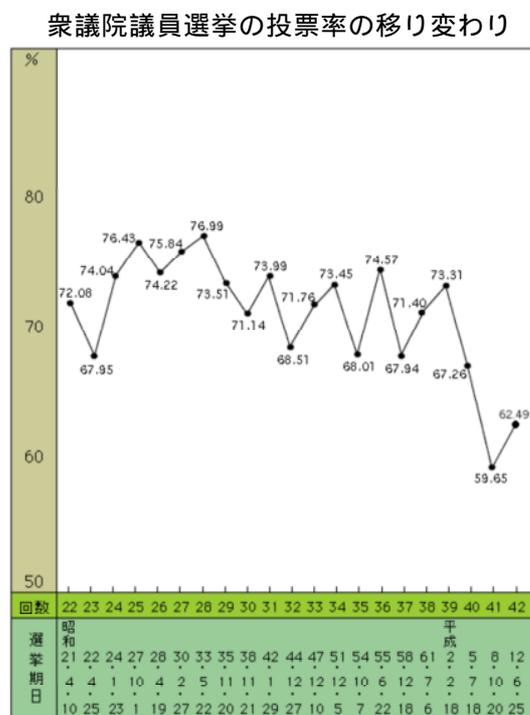
この勉強をして「多久の住民なんだ！！」という気持ちがとても強くなったと思います。前まではまったく多久の財政のことや多久の取組なんて興味がありませんでした。でも多久を発展させていくには、どうすればよいか。と考えているうちに、多久をいい町にするには、私たち多久の住民の協力が大切なんだ、ということが分かりました。自分ができることを協力していきたいと思いました。

4 評価問題と解答例、分析

評価問題は、観点別に作成しました。思考・判断や技能・表現の観点については、できるだけ複数の資料を基に、読み取ったり、相関関係を考えさせたり、根拠やアイデアを導いたりするような問題を作成するよう意識しました。

(1) 複数の資料を基に思考・判断したことを表現する問題例

次の資料を見て、以下の各問いに答えなさい。【思考・判断】



1997年 佐賀新聞記事を参考に改作

多久市長 氏、
2,100票差で 氏破る
新人の 氏(無所属)が自民県連推薦の
任期満了に伴う多久市長選挙は即日開票され、
大差をつけて圧勝、初当選を果たした。
当日有権者数は18,756人(男8,599人・女10,157人)。投票率は前回の70.14%だった。

(注)時事問題の都合上、市長の氏名等を伏せてあります。

(1) 上の2つの資料を使って、課題を設定し、調べて、解決する学習をしていきます。両方の資料を活用して、設定する課題(テーマ)として最もふさわしいものを1つ選んで、記号で答えなさい。

ア 「衆議院議員選挙はいつから始まったのだろう」～衆議院議員選挙の歴史について～

イ 「歴代の多久市長を調べよう」～多久市長の歩みについて～

ウ 「参議院議員と衆議院議員の選挙制度の違いを調べよう」

エ 「衆議院議員選挙に比べて多久市長選挙の投票率が高いのはなぜだろう」

オ 「選挙管理委員会の仕事について調べよう」

正解はエです。2つの資料から思考や判断をして、選択して答えたり、適切な課題を設定したりする問題は、学習状況調査や佐賀県立高校入試問題でも出題されたことがあります。授業でも、評価問題でも繰り返し取り組んでいけば、図表や文字資料を見るポイントがと適切に表現する力が高まるでしょう。

上のように選択肢から選ばせる方法の他にも、2つの資料から「あなただったら、どのような課題を設定しますか」という設問も考えられるでしょう。また、「衆議院議員選挙の投票率は低下傾向にあるのに、多久市長選挙の投票率が投票率が高かったのはなぜでしょうか。あなたの考えを書きなさい」という設問も考えられるでしょう。

このように、複数の資料を基に1つの課題を設定したり、複数の資料から見えてくる課題に対して自分の考えを記述したりする学習活動は、日々の授業でも評価問題でも繰り返し行うことが大切です。

(2) 資料を基に課題解決策や政策を考えて表現させる問題例

下の文は、A町の観光産業についての説明です。この町の現状を理解した上で、条例を制定します。あなたが議会で提案できるとしたら、どのような条例を提案しますか。「この町はなので、 という条例をつくることを提案します」という形で答えなさい。

【 A町の観光産業に関する現状について 】

この町は観光開発を進めてきており、これまで温泉、登山、ハイキング、史跡巡りなど地元の自然を生かした観光の宣伝活動を熱心に行ってきた。町役場の観光課は、人や社会が自然環境をどう大切にしていけるかが一番重要な問題だと考えており、「観光開発は自然を破壊するものであってはならない」という考えをもっている。また、大多数の住民もこの考えに賛成しており、自然を大切にしたい快適な居住地域と観光産業による地域の活性化に大きな期待を寄せている。観光課では、大企業を中心とした開発が、地域の自然・生活環境を配慮しないで日本各地で行われている現状を大変心配している。特に、ゴルフ場については農薬問題があるのでこの町に造るべきではないと考えている。

〔模範解答〕

(この町は)自然環境を生かした観光産業に取り組んでいる・自然を壊さない観光開発を進めている(ので)資源ゴミの活用をする・ゴミの分別をする(という条例をつくることを提案します)。

〔解答例〕

- ・ 自然を破壊する行動を取った場合罰金をとる。
- ・ ゴミ拾いなどの自然環境を大切にする。
- ・ 地域の自然生活環境を配慮し，観光開発は住民の意見を尊重して決めなければいけない。
- ・ 自然環境を破壊してしまうような大きな建物をつくるときは住民投票をしなければならない。
- ・ 開発するときには必ず住民投票を行い，その際にどんなことをするかを詳しく知らせる。

この問題は，佐賀県立高校前期試験の学力検査問題でも出題されてきたタイプのものです。前期試験では，出題趣旨に「単なる知識の量を試すのではなく，社会的事象について諸資料に基づき多面的・多角的に考察し，判断する能力を試すことができるように配慮した」と書いてあります。公民的資質の育成につながる評価問題を工夫して作成しましょう。

5 考察

本単元の指導に当たっては，知識として「記憶すること」，統計などの資料を「活用し読み取ること」，作業や体験的な活動を通して「考えること」など，身に付けさせたいことや評価したいことを明確に生徒に伝え，目標をはっきりと意識させながら学習を進めさせました。また，単元テストを行い，知識・理解面の定着を図るようにしました。

さらに，社会科学習に対する意識を高め，理解力の格差を少しでも縮めるために，場面に応じてグループ学習を仕組むことも実践しました。グループ学習を組むことで学習意識を引き上げることができます。その際，単元の特性を生かし，積極的に市報や新聞記事，多久市のホームページを活用して，資料から相関関係などを読み取らせるように指導しました。「市長への提言をしよう」という最終目標に向けて，資料(データ)を根拠に自分の考えを書いたり，述べたりする学習活動を通して，自分なりの考えをもち，グループ内で相互に意見を出し合うことで，多角的な見方・考え方が高まりつつあると考えます。

グループ学習での作業的・体験的学習で関心や意欲を高める！

**グループ内及びグループ相互で意見を出し合うことで，
多面的な見方・考え方が高まる！**

佐賀県中学生の社会科の学力向上のために（成果と課題）

1 作業的・体験的学習への取組

学習内容の精選を図ったり，ITを活用したりすることにより，授業時間数を大きく増やすことなく作業的・体験的学習に取り組ませることができました。また，1単位時間のうち，10分程度の短時間でも思考・判断や表現をする必要のある学習過程を組み込めば，思考力や判断力を高める上で一層効果的であることが分かりました。シミュレーション的に行えば，短時間でも内容のある学習が展開できます。「なすことによって学ぶ」ことは「学び方を学ぶ」ことにも，基礎学力の定着にもつながります。

課題としては，作業的・体験的学習を進める際，年間指導計画の見直しが必要な場合もあるということが挙げられます。例えば，地理的分野の実践例では，夏季休業前に「身近な地域」の課題設定までを行い，調査や製作活動を休業中の課題とすることも検討してみる価値があるでしょう。

2 小学校とのつながりを意識した授業展開

歴史的分野での実践では，小学校の社会科との関連を図りました。人物にスポットを当て，吹き出しを使って表現させるという方法は，中学生にも大変有効でした。歴史上の人物についての調べ学習で利用する本やWebページの資料は，大人一般用よりも小・中学生用のものの方が理解しやすい表現になっていて利用しやすいことも分かりました。地理的分野でも，小学校の副教材の資料を参考にしました。

中学校1年生では授業開きに合わせて，地理，歴史，公民の各分野において，生徒たちが小学校ではどのような学習（内容と方法）をしてきたのかを調べるようにしましょう。今後，校区の小学校教師と連携を図り，生徒の既習内容を把握したり，意見交流をしたりしていくことが望まれます。

3 ITを活用した授業実践

作業的・体験的学習の必要性は理解しつつも，時間がかかるので実践が難しいという教師の意見があります。地理的分野の事例で紹介したように，インターネットなどのITを活用すれば，教材研究や調査活動の時間が短縮でき，その分，作品制作や討論などの学習活動の時間が確保できます。

しかも，写真や動画，図表や音声による資料を扱った方が，社会的事象に対する関心が高まり，理解も深まります。社会的な思考や判断をするための資料は，より新しく客観的で多様なものが適切です。近年，学校のIT環境は急速に整備されています。教室にパソコンを持ち込んだり，視聴覚室やコンピュータ室を使ったりして授業を進めましょう。

その際，セキュリティや著作権などを含めた情報モラルの指導についても，確実に行わなければなりません。

4 指導と評価の一体化

授業の工夫・改善と評価問題の工夫・改善はセットにして進める必要があります。その際，参考になるのは，佐賀県学習状況調査の問題や県立高校学力検査問題です。このような問題を参考にし，単元テストや定期テストを工夫して作成し，結果を次の指導に生かすようにしましょう。

評価問題の研究の成果は，各学校や地区の研究会で共有化し，改善を進めて授業の質の向上につなげていきましょう。

おわりに

中学校社会科研究委員会では、平成16年度の佐賀県学習状況調査結果より、生徒の社会科学習における課題及び指導方法改善の方法を探ってきました。研究実践を通して、本県中学校生徒の社会的な思考力や判断力を高めるために、資料を活用して作業的・体験的学習に取り組む具体的なプランを提案することができました。この研究紀要を参考にして、わずかな時間でも作業的・体験的学習に取り組む先生が増え、社会的な思考力や判断力を中心として、本県生徒の社会科の学力が向上する一助になれば幸いです。

《引用文献》

- (1)(2)(3) 教育課程審議会「幼稚園，小学校，中学校，高等学校，盲学校，聾学校及び養護学校の教育課程の基準の改善について(答申)」平成10年7月29日
- (4) 文部省 『中学校学習指導要領解説 - 社会編 - 』平成11年 p.42
- (5) 文部省 『中学校学習指導要領解説 - 社会編 - 』平成11年 p.43
- (6) 文部省 『中学校学習指導要領解説 - 社会編 - 』平成11年 p.75
- (7) 文部省 『中学校学習指導要領解説 - 社会編 - 』平成11年 p.2
- (8) 文部省 『中学校学習指導要領解説 - 社会編 - 』平成11年 p.2
- (9) 文部省 『中学校学習指導要領解説 - 社会編 - 』平成11年 p.4
- (10) 佐賀県教育委員会 「平成16年度学習状況に関する実態調査資料」平成17年

《参考文献》

- ・ 文部省 『中学校社会科指導資料 作業的・体験的学習の充実』平成5年
- ・ 佐賀県教育委員会 『平成16年度 佐賀県小・中学校学習状況調査報告書』平成17年
- ・ 澁澤 文隆，佐伯 真人，大杉 昭英編著
『改訂 中学校学習指導要領の展開 社会科編』1999年 明治図書
- ・ 澁澤 文隆編 『中学校社会科絶対評価の方法と実際』2003年 明治図書
- ・ 澁澤 文隆編 『中学校社会科テスト問題の改革』1997年 明治図書
- ・ 社会認識教育学会編 『社会科教育学ハンドブック』1994年 明治図書
- ・ 社会認識教育学会編 『社会科教育辞典』2000年 ぎょうせい
- ・ 谷川 彰英 『問題解決学習の理論と方法』1993年 明治図書
- ・ 溝上 泰 編 『社会科教育実践学の構築』2004年 明治図書
- ・ 佐長 健司 「社会科における思考力の評価」『指導と評価』2004年12月号 図書文化

佐賀っ子学力向上プラン
中学校社会科編

【研究委員】

佐賀県教育センター	光武 正夫
多久市立中央中学校	岩上佳保里
玄海町立値賀中学校	伊東 泰弘